



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2020年
9月7日
発行

第52回 「自民党総裁選の日本株への影響」

～菅首相+全閣僚留任がベストシナリオか～

初めに

事実上次期首相を決めることになる自民党総裁選の候補者が出そろいました。今回は前回に続き、ポスト安倍と株式市場への影響について検討します。

政権交代自体は日本株にプラス

まずこの政権交代自体は日本株にプラスと考えています。今年に入って安倍政権は政策らしい政策を打ち出せていません。今にして思えば安倍氏の体調不良のせいだったのでしょうか、このままではこうした状況がいつまでも続くことになりかねません。その場合日本株にも悪影響が出る恐れがあります。この様に考えると残念なことはありますが、辞任を表明した安倍氏の判断は正しく、株式市場にもプラスになるものと言えます。

総裁選は菅官房長官が有力

総裁選に関する報道では主要派閥の支援を受ける菅官房長官の当選が有力視されています。ただ地方票の動向次第では石破元幹事長などに票が集まることも考えられ、菅氏で決まりとまでは言えないと思います。

総裁選の株式市場への影響

安倍氏は退陣することになりましたが政策が理由で退陣する訳ではありません。従って株式市場としては安倍氏の政策を踏襲する人が次期首相に望ましいと言えますが、その場合、菅氏が有力ということになるでしょう。菅氏以外にも現在の閣僚には高市総務相・加藤厚労相・梶山経産相・河野防衛相・茂木外相など安倍政権で閣僚などを歴任したメンバーが揃っています。この様に考えて現在の閣僚を基本的に新内閣においても留任させることが政策継続の面から望ましいと見ています。もしそうできれば安心感に繋がり日本株の押し上げ要因になると思います。

重要なのは政権発足直後のスピード感

株価に大きな影響を与えると思われるのは政権発足直後の課題に対するスピード感です。今なら新型コロナ対策と言うことになりそうですが早期に対策を推し進め成果を出せば政権への信頼感が高まります。株式市場にも好影響が出るでしょう。逆に株式市場のリスクとなるようなシナリオとしては総裁選の方式を巡って若手議員の不満が一段と高まり総裁選が混乱すること、総裁選後のポストの配分を巡って派閥に不満が残り新政権が求心力を保てないことなどが考えられます。いずれも株式市場にとっては悪材料になりそうです。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。